

## 総監口頭試験体験記

公務員OB技術士

令和3年度 総監口頭試験を受験しました。

総監口頭試験の情報があまりにも少ないので、皆さんの何かの足しになればと思って書いています。

### 【概要】

受験日：令和3年12月15日

試験会場：新宿市谷 市ヶ谷TKPカンファレンスセンター4階

試験時間：午後3時20分から45分くらいまで

試験部門：電気電子—電気設備

試験官：3名

### 【質問内容】

業務経歴や業務詳細のプレゼンはなかった。

いきなり、面接のような質問になった。

「大学卒業後、すぐ就職したのか？」

「大学では何を専攻したのか？」

など、経歴書に記載してある内容を確認された。

「一般部門を合格したのは何年度か？何回目で合格したか？」

とも聞かれた。(なんの意味で確認しているのかわからず、不安になった。)

左側の試験官が、

「業務詳細の事例で、何か調整したような事はないか」と聞いてきた。

(業務詳細にトレードオフの事が書いてあるのに、なんでまた聞くのかと思った)

業務詳細のとおり説明したが、納得していないようだった。次に、

「電気電子の技術士を持っているのに、なぜ総監を受験するのか」と聞いてきた。

(受験動機は用意していたが、こういう切り口で聞かれるとは予想せず、動揺した)

「電気電子を勉強している間に総監にも興味がわき、今の業務にも生かせると思ったので受験した。」と答えたが、不十分だった。

「電気電子の専門技術だけでは不十分で、総監の技術が必要だから」と答えるべきだった。

中央の試験官が

「〇〇〇〇が最重要管理目標と書いてあるが、それはちょっと違うのではないか？」

と聞いてきた。完全に盲点だった。インプット条件から必然的に最重要管理目標が導かれると思い込んでいたが、目標が的外れであれば、その後の努力は全て無駄になると試験官は言っているのだとわかった。

自分で考えて、正しく目標を設定し、その設定理由を説明しなさいと試験官は言っているのだと思った。

答えを用意しておらず、追い込まれた私は試験官との議論は避けたいとの思いから、

「その時の条件から最重要管理目標を設定したが、別の見方もあったかも知れない」

と、自らを否定するような回答をしてしまった。

「短期的にはそれがベストだった。中長期的には違う目標になる。」と答えるべきだった。

また左側の試験官が、聞いてきた。

「業務詳細の事例は〇〇年のことだが、あなたはその後7年間もその職場に在籍している。後の6年間はどんな事をしてきたのか？」

(これも予想外の質問で困惑した)

試験官は、単発的な業務管理ではなく、その職場にいた期間中、継続的にどのような業務管理をしてきたのかと聞いているのだと思った。答えに窮した私は、苦し紛れに

「その都度、課題に向き合ってきた。」

と回答したが、今思うと最悪の解答だった。これでは、場当たりのその場しのぎで何とか課題をクリアしてきたようにしか聞こえず、全然管理になっていない。

その後テレワークの話になり、雑談的に会社の業務体制などを聞かれた。

これでは不十分と見たのか、中央の試験官が、

「最後に、総監として業務詳細の事例をまとめてください」と言ってきた。

「中長期的には、組織の存続が最重要管理目標であり、その為には経済性管理では〇〇、人的資源管理では〇〇、社会環境管理では〇〇が必要です。」

と答えたが、それで挽回できたかはわからない。

「仮想事例」「筆記試験」の質問はなかった。ほとんど、業務詳細に関する質問だった。

想定外の質問ばかりで、試験官とは終始かみ合わない感じで終わってしまった。

時間は25分ぐらいだった。30分すぎたら合格はないと思っていたので、微妙な時間だった。

試験官のイメージしている総監は中長期的な組織管理だと感じた。

厳しい試験だったが、試験官の言う事はいちいちもつともで、自分とは技術者としての実力に差があると感じた。

結果は合格だったが、幸運だったとしか言いようがないと思っている。